

授業 No.

7-3

高校出張講義実施概要

氏名	伊藤 陽司
学科・コース（主担当）	地域未来デザイン工学科・社会インフラ工学コース
職名	准教授
授業題目	生活している土地の成り立ちと災害
授業内容	<p>私たちが暮らす土地の多くは、自然の過程を経て形成されたところに私たちがさまざまな手を加えて利用し易いように改変してきた場です。近年、そのような場で地震や大雨といった自然の力が加わって地盤液状化や地すべり・土石流が発生し、多くの人が犠牲となる事例が急増しています。</p> <p>災害を未然に防いだり、被害をできる限り少なくしたりするためには、私たちが暮らしている場がどのような過程で作られ、どのような弱点が潜んでいるのかを知っておくことが重要です。</p> <p>授業では最近の災害事例を振り返り、私たちが暮らす土地の弱点を紹介します。どのような備えをしなければならないかを考える機会にしてほしいと思います。</p>
簡単な実験を行う場合はその内容	
授業に使用する機材（高校が用意するもの等）	<p>プロジェクターとスクリーンを用意して下さい。</p> <p>PCは持参します。</p>
備考	<p>大学での講義時間割によりますが、4月～7月の間と10月以降は実施日時は相談させて下さい。</p>

※実施時期は、概ね7月から11月の期間とします。